

3 上 原 地 域

上原地域は、入善地域との隣接部や、国道8号と国道8号バイパスの沿道及び交差点において、住宅や商業・工業施設が立地し、地域中心部には小学校等の公共施設が集積するなど、都市的な土地利用が進行している地域であるとともに、海岸部には、国指定の天然記念物「杉沢の沢スギ」が保全されています。

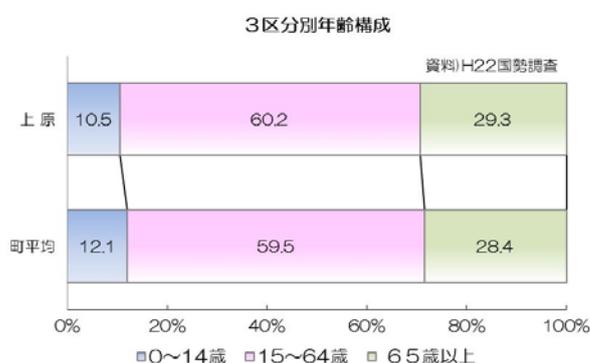
人口・世帯数の動向

平成22年現在の人口は3,286人、世帯数は1,066世帯で、人口は概ね横ばい、世帯数は増加傾向にあります。



少子・高齢化の傾向

本地域の年少人口(0~14歳)は、町平均を下回っていますが、老年人口(65歳以上)は、町平均とほぼ同水準となっています。



土地利用現況

地域の北部には、日本海に面した古くからの集落(吉原地区)が形成されています。また、入善地域との隣接部には、用途地域に指定された一団の住宅地が形成されているほか、国道8号沿道においても住宅が立地しています。

広域幹線道路である国道8号沿道には、商業・業務施設が立地しており、特に、入善地域との隣接部には、周辺住民が日常生活必需品等を購入できる商業施設が集積しています。地域の中心部(国道8号以北)には、入善西中学校や上青小学校などの公共施設が集積しており、また、地域の南東部には、健康交流プラザ・サンウェルなどの健康・福祉施設が集積しています。

地域の北西部には、国指定の天然記念物「杉沢の沢スギ」が保全されています。

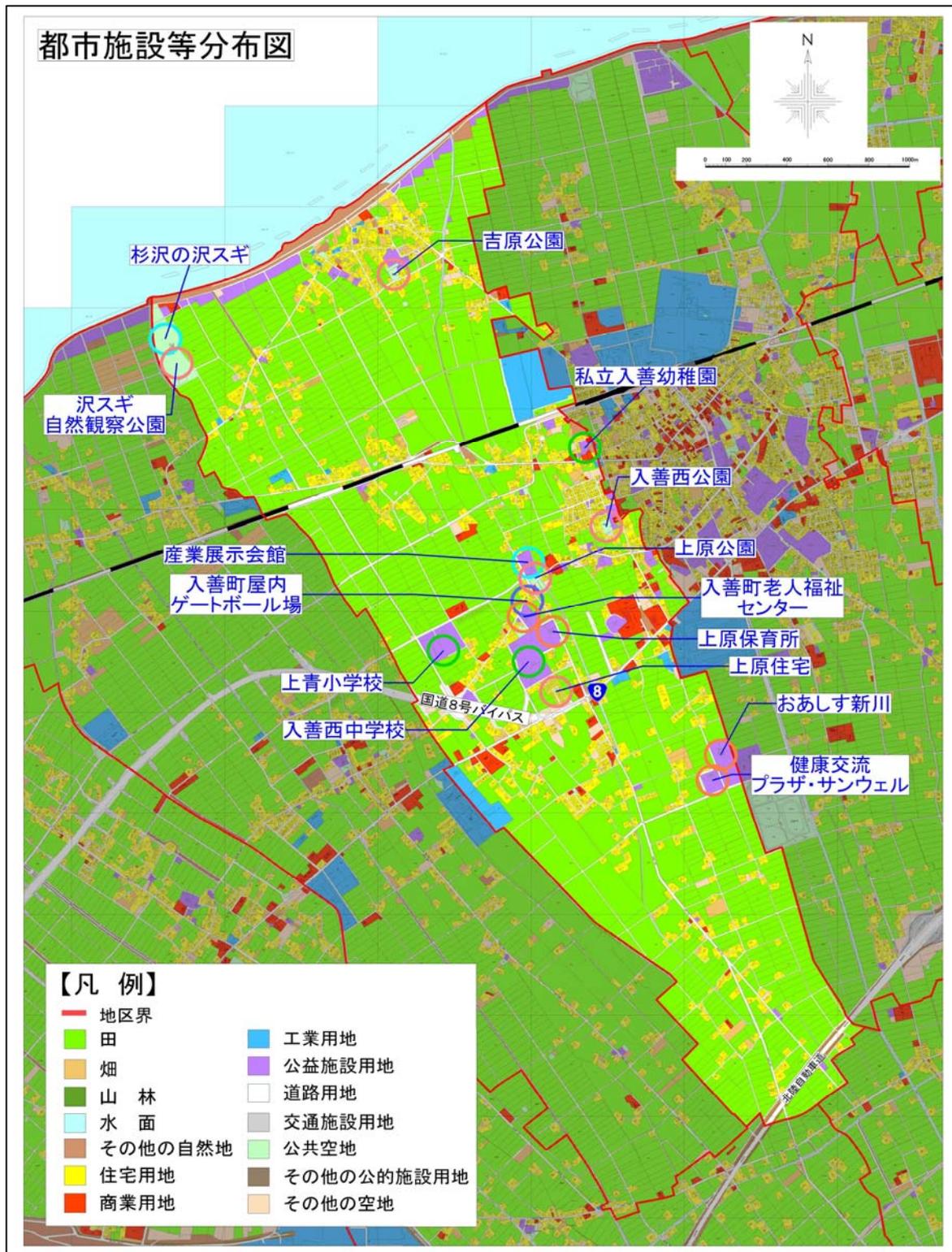
都市基盤整備状況

地域を東西に横断する国道8号及び国道8号バイパスは、東西方向の主要な幹線道路として重要な役割を担っています。

国道8号とJR北陸本線以北を連絡する南北方向の道路として、(都)上野吉原線が計画されていますが、現在の整備率は約2割であり、南北方向のアクセス性が十分に確保されていません。

国道8号以北の住宅地や集落内には、入善西公園、上原公園、吉原公園が整備されています。

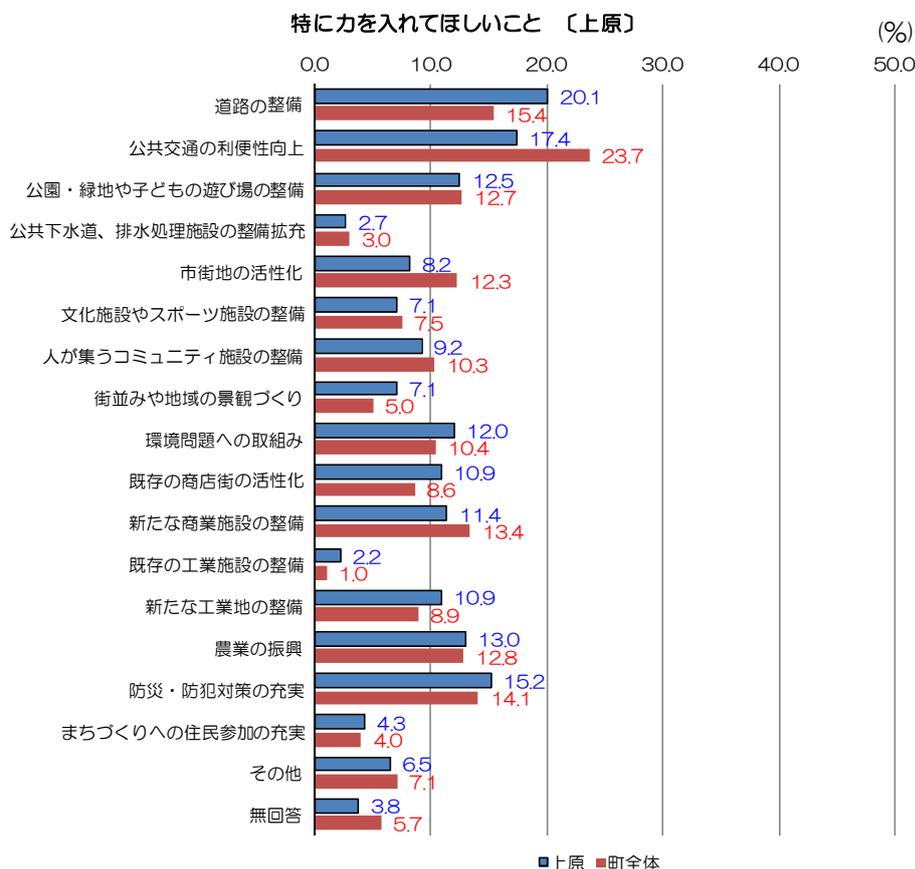
主な都市施設分布状況	
行政・コミュニティ施設	入善西公園、上原公園、上原住宅 等
福祉施設	入善町老人福祉センター、上原保育所 等
教育施設	入善西中学校、上青小学校、私立入善幼稚園
スポーツ・文化施設	入善町屋内ゲートボール場
その他の施設	杉沢の沢スギ、産業展示会館



■ アンケート調査結果、まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

● アンケート調査結果(地域において特に力を入れてほしいこと)

- ・ 本地域の住民が特に力を入れてほしいと感じていることは「道路の整備：20.1% (1位)」、「公共交通の利便性向上：17.4% (2位)」、「防災・防犯対策の充実：15.2% (3位)」であり、アクセス機能の向上を求める要望が挙げられています。



● まちづくり懇談会の主な意見(H18～H22)

(H18) 休所後の吉原保育所を宅老所としての利用を要望
(H18) 上野吉原線の早期開通を要望
(H18) 地区公民館を活用した地域の活性化促進を要望
(H18) 国道8号バイパス開通に伴う取り付け道路の安全対策を要望
(H19) 能登半島地震、中越沖地震と隣県で大規模な地震災害があったにもかかわらず、住民の危機意識は、依然として低い
(H19) ふれあいコミュニティの推進を要望
(H19) 上飯野入善停車場線の上原公園前交差点における信号機の設置等の安全対策を要望
(H20) 学童保育の設置を要望
(H21) 過去に災害が少ないため、住民が災害に対する危機意識が低い
(H21) 高齢者福祉施設の設置
(H21) 海岸、防潮林などへの不法投棄が目立ち、海岸への漂流物が多くある
(H21) 高齢者が不自由になっても施設に入れず、将来が不安
(H22) 若者の地域参加が少ない

■まちづくりの課題

（土地利用の課題）

入善地域との隣接部では、住宅地や商業地の開発圧力が高いことから、無秩序な開発を抑制し、適正な土地利用を誘導していく必要があります。

吉原地区の既存集落については、古くからの面影を残しつつ、集落環境の維持・向上に向けた適正な土地利用を誘導する必要があります。

（都市基盤整備の課題）

杉沢の沢スギ等の観光レクリエーション拠点をはじめ、海岸部の既存集落、隣接市町とのアクセス性の向上を図るため、JR北陸本線以北における東西方向を連絡する道路機能を強化・充実する必要があります。

地域内の各所から、東西方向の幹線道路である国道8号及び国道8号バイパスへのアクセス性の向上を図るため、（都）上野吉原線等の南北方向の道路について、道路機能を強化・充実する必要があります。

地域の中心部には、入善西中学校、上青小学校等の教育施設、入善町老人福祉センター等の福祉施設が集積しているため、施設周辺や交通量が多い通学路周辺の安全性の向上を図る必要があります。

（その他の社会環境上の課題）

地域住民の安全性の向上を図るため、海岸部の水害などに対する住民の防災意識の向上をはじめとした防災対策を推進する必要があります。

■まちづくりの方針【上原地域】

1. 将来目標

中心市街地に隣接した地域として魅力ある都市空間の形成と 杉沢の沢スギなどの自然との調和

上原地域は、国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギや日本海に面する海岸線などの自然環境と調和するとともに、入善町の中心市街地に隣接した地域として、生活の利便性が高い住環境と魅力ある都市空間の形成を図ります。

2. 土地利用の方針

(用途地域への編入及び計画的な土地利用誘導の検討)

- ・住宅地や商業地の開発圧力が高まっている入善地域の隣接部では、町民の利便性の向上と適正な建築指導を図るため、地域住民のコンセンサスを得ながら、用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導策の検討を進めます。

(地域拠点の形成と集落環境の維持・改善)

- ・日本海に面する吉原地区には、古くからの面影を残す集落が形成されており、特有の環境の維持及び定住化を推進します。
- ・災害時の避難場所やコミュニティ向上の拠点とするため、老朽化の進む地区交流センターの再構築または施設機能の充実を図ります。
- ・地域内の安全・安心な歩行環境の形成のための道路機能の強化や、地域住民が憩える公園、消防水利の充実を図ります。
- ・空き家情報提供制度の活用により、空き家等の既存ストックの有効活用を推進し、集落の定住促進を図ります。



吉原地区（恵比須祭り）

(周辺環境と調和した工場立地基盤の整備)

- ・JR北陸本線以北の既存工業施設が集積する工業地は、工業地内の緑化等により、周辺の住宅や田園との調和を図ります。また、周辺での産業立地誘導にあわせた工場立地基盤の整備により、良好な工業地の形成を図ります。

(杉沢の沢スギ等の自然や田園の保全と集落環境の維持・向上)

- ・杉沢の沢スギ等の自然や優良農地の保全、また、田園と調和した集落環境の維持・向上を推進するため、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

(無秩序な開発の抑制と海岸景観や資源の保全・活用)

- ・連続した良好な海岸景観を保全するため、防災林の適切な維持管理を推進します。
- ・海岸部には、国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギなどが存在しており、周辺での無秩序な開発を抑制していくとともに、人々が楽しみ、憩える空間整備を図ります。



杉沢の沢スギ

(無秩序な開発を抑制した計画的な沿道利用)

- ・ 国道8号沿道には、既に産業等の沿道利用施設が点在していますが、地域住民の利便性を確保する一方、農地保全の観点から、無秩序な開発を抑制するとともに、地区計画等の導入などにより、産業・沿道サービス施設の計画的な立地を推進していきます。

3. 都市施設整備の方針

(1) 道路整備の方針

(東西方向を連絡する広域幹線道路の維持・整備)

- ・ 国道8号及び国道8号バイパスは、沿道において今後も沿道サービス施設や企業立地の進展により、交通需要の変化が想定されることから、安全で快適な走行性が確保された道路機能の維持を図ります。
- ・ 国道8号及び国道8号バイパスの交差点は、車両交通が集中する場所であるため、交差点周辺部における交通安全性の向上を図ります。
- ・ 湾岸道路は、JR北陸本線以北の東西方向を連絡する広域幹線道路であり、地域北部に位置する杉沢の沢スギ等の観光レクリエーション拠点、隣接市町、海岸部の既存集落を連絡する道路として、整備促進に向けて検討します。

(市街地の交通の円滑化やスポーツ健康ゾーンとの連携強化)

- ・ 市街地の西側外縁を南北に走る(都)上野吉原線の整備を推進し、広域幹線道路である国道8号等と接続することにより、中心市街地周辺の交通の円滑化を図ります。
- ・ 市街地と健康交流プラザ・サンウェル等のスポーツ健康ゾーンを連絡する幹線道路は、連携強化を図るため、歩行者・自転車利用者なども利用しやすいよう歩行空間の確保、街路樹による緑化、バリアフリー化等を検討します。

(地域住民の日常生活に密着した道路整備)

- ・ JR北陸本線等で分断される集落を連絡する道路交通について、円滑な横断が可能となるよう、道路機能強化の方向性を検討します。

(教育施設が集積する一帯の交通安全性の強化)

- ・ 上青小学校、入善西中学校などの教育施設が集積する一帯では、通学路の交通安全性向上に寄与する道路機能の強化・充実を図ります。



入善西中学校

(2) 公共交通の方針

(町営バスの利便性向上)

- ・ 町営バスは、(都)上野吉原線の整備などとあわせ、南北方向のバス路線の強化検討など、必要に応じ、柔軟に対応することで、地域住民にとってより利便性の高い運行を行います。

(3) 公園・緑地の方針

(スポーツ健康ゾーンの利用促進)

- ・ 健康交流プラザ・サンウェルは、入善町中央公園等と一体性のあるスポーツ健康ゾーンとして位置づけられており、これら施設の適切な維持管理と利用実態に応じた機能強化を図り、地域住民等に親しまれる多様なレクリエーション・交流の場として利用を促進します。



健康交流プラザ・サンウェル

(未開設の都市計画公園の整備推進)

- ・入善南公園や下上野公園については、未開設の都市計画公園であり、早期整備に向けて検討します。

(杉沢の沢スギや既設公園の保全・活用)

- ・入善町特有の自然林である「杉沢の沢スギ」の維持管理に努め、町民や観光客のさらなる利用促進を図ります。
- ・入善西公園、上原公園、吉原公園など、地域住民の憩いの場となる既設公園は、今後も施設や遊具の適切な維持管理を推進します。



吉原公園

4. 環境共生型の都市づくりの方針

(杉沢の沢スギなどの町特有の自然環境の保全)

- ・国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギを、水・緑・歴史が調和する特有の自然環境として保全することにより、環境と共生した都市の維持を図ります。



杉沢の沢スギ

(水と緑を活かした良好な都市環境の形成)

- ・産業誘導軸に位置づけられている(都)上野吉原線などの街路樹の整備、入善西公園、上原公園などの既設の公園整備などにより、緑豊かな都市環境の形成を図ります。

5. 都市景観形成の方針

(海岸景観や町特有の自然景観の保全)

- ・日本海に面する海岸線の良好な景観や、国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギなどを保全するため、防災林の保全、海岸や杉沢の沢スギ周辺の清掃活動、眺望場所の保全などを推進します。



防災林

(海岸や田園と調和した集落景観の保全)

- ・日本海に面し、古くからの面影を残す吉原地区は、海岸や田園などの自然景観と調和した集落景観を保全するため、無秩序な開発を抑制し、必要に応じて、地区計画等の導入を図ります。

(大規模な建築物等の規制誘導)

- ・国道8号沿道に立地する大規模な商業・工業施設等は、周辺に圧迫感や違和感を与えないよう規制・誘導することを検討します。

(沿道における建築物や屋外広告物の規制誘導)

- ・国道8号沿道は、既に商業・工業施設が立地していますが、良好な沿道景観を形成するため、経済活動に影響を与えないよう配慮しつつ、建築物や屋外広告物の規制誘導を推進します。
- ・産業誘導軸に位置づけられている(都)上野吉原線については、整備の促進とあわせ、良好な沿道景観を形成するため、周辺環境との調和を図りながら、屋外広告物の規制誘導や景観法に基づく地区指定を検討します。

(中心市街地隣接部における適正な市街地景観の誘導)

- ・ 住宅地や商業地の開発圧力が高まっている入善地域との隣接部においては、用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導策の検討とあわせ、住宅地や商業地等の適正な市街地景観形成の誘導を図ります。

6 . 安全・安心な都市づくりの方針

(入善海岸高波災害を教訓とした海岸等の水害対策)

- ・ 入善海岸高波災害を教訓とし、海岸部の集落などの防災対策を強化するほか、関係機関との連携強化による水害対策事業の推進や、入善町防災マップ等の周知徹底、海岸高波対応演習など、地域住民の災害に対する意識の向上を図ります。



連続する海岸線

(避難場所の拡充・機能強化と避難路の確保)

- ・ 入善西公園、上原公園などの公園機能を充実するとともに、上青小学校など、備蓄機能の確保等により、避難場所としての機能強化を図ります。
- ・ 災害時に地域住民が避難場所まで安全に避難できるよう、歩車道の分離、段差や狭あい道路の解消、避難経路における建築物・工作物の耐震強化などの適切な措置を推進します。



杉沢の沢スギ付近のチューリップ

上原地域 まちづくり方針図



沢スギ自然観察公園の憩いの空間

- ・海岸線の良好な景観の保全
- ・防災林の継続的整備の推進
- ・津波等の防災対策、入善町防災マップの周知
- ・海岸のバトロール等の実施
- ・杉沢の沢スギ等の自然の保全
- ・杉沢の沢スギの利用促進、人々が楽しみ、憩える空間整備

- ・拠点集落（吉原地区）の定住化促進
- ・地区交流センターの再構築または施設機能の充実
- ・地区内道路等の整備による安全性の向上

- ・湾岸道路の整備促進の検討
- ・JR北陸本線等で分断される南北集落の連絡強化
- ・（都）上野吉原線の整備
- ・自然景観に配慮した景観誘導

- ・下上野公園などの早期整備検討

- ・用途地域への編入をはじめとする計画的な土地利用誘導
- ・適正な市街地景観の誘導

- ・市街地とスポーツ健康ゾーンの連携強化

- ・交差点周辺の交通安全性の向上、良好な市街地景観の創出

- ・小学校等周辺での交通安全性の向上

- ・無秩序な開発の抑制、産業・沿道サービス施設の計画的な立地
- ・広域的な連携・交流、産業交通の円滑化

- ・優良農地の保全



良好な沿道空間

凡例

住環境形成地区	沿道利用地区	沿道利用誘導地区	地域界
住宅地区（市街地・拠点集落）	工業地区	広域幹線道路	用途地域（現況）
中心商業地区	農業環境保全地区	幹線道路	
地域商業地区	海浜レクリエーション地区	バス路線	